

## No.18 病院（村山地域）

## 病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	411	224	187	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	—	—	—	—	—	—
II 新生物	—	—	—	—	—	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1	1	—	0%	0%	—
V 精神及び行動の障害	392	214	178	95%	96%	95%
VI 神経系の疾患	14	6	8	3%	3%	4%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	2	1	1	0%	0%	1%
X 呼吸器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X I 消化器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	1	1	—	0%	0%	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1	1	—	0%	0%	—
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

## 病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	—	—	—	—	—	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	2	1	1	0%	0%	1%
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

## 解析結果

医療法人 No.18 病院の患者総数は 411 名であり、そのうち入院患者は 224 名、外来患者は 187 名であった。医療法人 No.18 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは精神及び行動の障害であり、患者総数は 392 名(95%)であった。そのうち、入院患者は 214 名(96%)、外来患者が 178 名(95%)であった。具体的には統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害の患者が多く、患者総数が 275 名(67%)、入院患者が 169 名(75%)、外来患者が 106 名(57%)であった。その他には、気分[感情]障害(躁うつ病を含む)の患者も多かった。

## No.19 (村山地域)

## 病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	1,452	480	972	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	51	13	38	4%	3%	4%
II 新生物	288	152	136	20%	32%	14%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	7	4	3	0%	1%	0%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	97	12	85	7%	3%	9%
V 精神及び行動の障害	32	4	28	2%	1%	3%
VI 神経系の疾患	39	16	23	3%	3%	2%
VII 眼及び付属器の疾患	69	15	54	5%	3%	6%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	18	4	14	1%	1%	1%
IX 循環器系の疾患	180	70	110	12%	15%	11%
X 呼吸器系の疾患	106	42	64	7%	9%	7%
X I 消化器系の疾患	113	42	71	8%	9%	7%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	34	1	33	2%	0%	3%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	68	17	51	5%	4%	5%
X IV 尿路性器系の疾患	158	27	131	11%	6%	13%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	13	10	3	1%	2%	0%
X VI 周産期に発生した病態	1	—	1	0%	—	0%
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	3	—	3	0%	—	0%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	44	14	30	3%	3%	3%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	68	36	32	5%	8%	3%
X X 保健サービスの利用	63	1	62	4%	0%	6%

## 病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	245	147	98	17%	31%	10%
II 糖尿病	55	6	49	4%	1%	5%
III 虚血性心疾患	12	4	8	1%	1%	1%
IV 脳血管疾患	107	54	53	7%	11%	5%
V 周産期	17	10	7	1%	2%	1%

資料:平成 17 年山形県患者調査

## 解析結果

No.19の患者総数は1,452名であり、そのうち入院患者は480名、外来患者は972名であった。No.19では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは新生物であり、患者総数は288名(20%)であった。そのうち、入院患者は152名(32%)、外来患者が136名(14%)であった。具体的には胃の悪性新生物の患者が多く、患者総数が27名(3%)、入院患者が13名(6%)、外来患者が14名(1%)であった。

次に患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は180名(12%)であった。そのうち、入院患者は70名(15%)、外来患者が110名(11%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が69名(5%)、入院患者が35名(7%)、外来患者が34名(3%)であった。

三番目に患者数が多いのは尿路性器系の疾患であり、患者総数は158名(11%)であった。そのうち、入院患者は27名(6%)、外来患者が131名(13%)であった。具体的には慢性腎不全の患者が多く、患者総数が65名(4%)、入院患者が10名(2%)、外来患者が55名(6%)であった。



## No.20 病院（村山地域）

## 病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	599	219	380	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	5	1	4	1%	0%	1%
II 新生物	94	39	55	16%	18%	14%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	3	1	2	1%	0%	1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	60	2	58	10%	1%	15%
V 精神及び行動の障害	—	—	—	—	—	—
VI 神経系の疾患	4	2	2	1%	1%	1%
VII 眼及び付属器の疾患	20	—	20	3%	—	5%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	5	1	4	1%	0%	1%
IX 循環器系の疾患	76	20	56	13%	9%	15%
X 呼吸器系の疾患	43	20	23	7%	9%	6%
X I 消化器系の疾患	79	13	66	13%	6%	17%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	4	1	3	1%	0%	1%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	42	14	28	7%	6%	7%
X IV 尿路性器系の疾患	15	2	13	3%	1%	3%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	2	1	1	0%	0%	0%
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	6	4	2	1%	2%	1%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	48	30	18	8%	14%	5%
X X 保健サービスの利用	93	68	25	16%	31%	7%

## 病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	73	30	43	12%	14%	11%
II 糖尿病	51	—	51	9%	—	13%
III 虚血性心疾患	20	7	13	3%	3%	3%
IV 脳血管疾患	13	3	10	2%	1%	3%
V 周産期	2	1	1	0%	0%	0%

資料:平成 17 年山形県患者調査

## 解析結果

No.20 病院の患者総数は 599 名であり、そのうち入院患者は 219 名、外来患者は 380 名であった。No.20 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは新生物であり、患者総数は 94 名(16%)であった。そのうち、入院患者は 39 名(18%)、外来患者が 55 名(14%)であった。具体的には胃の悪性新生物の患者が多く、患者総数が 15 名(3%)、入院患者が 5 名(2%)、外来患者が 10 名(3%)であった。

次に患者数が多いのは保健サービスの利用であり、患者総数は 93 名(16%)であった。そのうち、入院患者は 68 名(31%)、外来患者が 25 名(7%)であった。具体的にはそれ以外の検査・検診・管理の患者が多く、患者総数が 78 名(13%)、入院患者が 66 名(30%)、外来患者が 12 名(3%)であった。

三番目に患者数が多いのは消化器系の疾患であり、患者総数は 79 名(13%)であった。そのうち、入院患者は 13 名(6%)、外来患者が 66 名(17%)であった。具体的には歯肉炎及び歯周疾患の患者が多く、外来患者が 25 名(7%)であった。

## No.21 病院（村山地域）

## 病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	747	314	433	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	13	4	9	2%	1%	2%
II 新生物	38	20	18	5%	6%	4%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	19	7	12	3%	2%	3%
V 精神及び行動の障害	19	5	14	3%	2%	3%
VI 神経系の疾患	25	10	15	3%	3%	3%
VII 眼及び付属器の疾患	17	3	14	2%	1%	3%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	10	—	10	1%	—	2%
IX 循環器系の疾患	189	123	66	25%	39%	15%
X 呼吸器系の疾患	69	30	39	9%	10%	9%
X I 消化器系の疾患	55	20	35	7%	6%	8%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	24	4	20	3%	1%	5%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	74	6	68	10%	2%	16%
X IV 尿路性器系の疾患	43	14	29	6%	4%	7%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	3	1	2	0%	0%	0%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	20	8	12	3%	3%	3%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	82	51	31	11%	16%	7%
X X 保健サービスの利用	47	8	39	6%	3%	9%

## 病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	31	17	14	4%	5%	3%
II 糖尿病	13	6	7	2%	2%	2%
III 虚血性心疾患	7	—	7	1%	—	2%
IV 脳血管疾患	138	115	23	18%	37%	5%
V 周産期	3	1	2	0%	0%	0%

資料:平成 17 年山形県患者調査

## 解析結果

No.21 病院の患者総数は 747 名であり、そのうち入院患者は 314 名、外来患者は 433 名であった。No.21 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 189 名(25%)であった。そのうち、入院患者は 123 名(39%)、外来患者が 66 名(15%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 95 名(13%)、入院患者が 79 名(25%)、外来患者が 16 名(4%)であった。

次に患者数が多いのは損傷、中毒及びその他の外因の影響であり、患者総数は 82 名(11%)であった。そのうち、入院患者は 51 名(16%)、外来患者が 31 名(7%)であった。具体的には大腿骨の骨折の患者が多く、患者総数が 20 名(3%)、入院患者が 18 名(6%)、外来患者が 2 名(0%)であった。その他には、頸部、胸部及び骨盤の骨折(脊椎を含む)の患者も多かった。

三番目に患者数が多いのは筋骨格系及び結合組織の疾患であり、患者総数は 74 名(10%)であった。そのうち、入院患者は 6 名(2%)、外来患者が 68 名(16%)であった。具体的には脊椎障害(脊椎症を含む)の患者が多く、患者総数が 20 名(3%)、入院患者が 1 名(0%)、外来患者が 19 名(4%)であった。



## No.22 病院（村山地域）

## 病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	49	24	25	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	—	—	—	—	—	—
II 新生物	—	—	—	—	—	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	—	—	—	—	—	—
V 精神及び行動の障害	—	—	—	—	—	—
VI 神経系の疾患	—	—	—	—	—	—
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X 呼吸器系の疾患	1	—	1	2%	—	4%
X I 消化器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X IV 尿路性器系の疾患	1	1	—	2%	4%	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	20	20	—	41%	83%	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	—	—	—	—	—	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	—	—	—	—	—	—
X X 保健サービスの利用	27	3	24	55%	13%	96%

## 病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	—	—	—	—	—	—
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	—	—	—	—	—	—
V 周産期	20	20	—	41%	83%	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

## 解析結果

No.22 病院の患者総数は 49 名であり、そのうち入院患者は 24 名、外来患者は 25 名であった。No.22 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは保健サービスの利用であり、患者総数は 27 名(55%)であった。そのうち、入院患者は 3 名(13%)、外来患者が 24 名(96%)であった。具体的には乳幼児の検査・検診・管理の患者が多く、外来患者が 23 名(92%)であった。

次に患者数が多いのは妊娠、分娩及び産褥であり、入院患者は 20 名(83%)であった。具体的には、その他の胎児及び羊膜腔に関連する母体のケア並びに予想される分娩の諸問題、およびその他の妊娠及び分娩の障害及び合併症の患者が多く、それぞれ入院患者が 8 名(33%)であった。

## No.23 病院（村山地域）

## 病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	339	246	93	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	3	2	1	1%	1%	1%
II 新生物	12	9	3	4%	4%	3%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	6	2	4	2%	1%	4%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	18	11	7	5%	4%	8%
V 精神及び行動の障害	1	1	—	0%	0%	—
VI 神経系の疾患	11	6	5	3%	2%	5%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	3	—	3	1%	—	3%
IX 循環器系の疾患	156	127	29	46%	52%	31%
X 呼吸器系の疾患	45	29	16	13%	12%	17%
X I 消化器系の疾患	22	18	4	6%	7%	4%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	3	3	—	1%	1%	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	23	9	14	7%	4%	15%
X IV 尿路性器系の疾患	13	12	1	4%	5%	1%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	1	1	—	0%	0%	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	1	—	1	0%	—	1%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	21	16	5	6%	7%	5%
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

## 病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	11	8	3	3%	3%	3%
II 糖尿病	7	5	2	2%	2%	2%
III 虚血性心疾患	5	3	2	1%	1%	2%
IV 脳血管疾患	114	114	—	34%	46%	—
V 周産期	1	1	—	0%	0%	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

## 解析結果

No.23 病院の患者総数は 339 名であり、そのうち入院患者は 246 名、外来患者は 93 名であった。No.23 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 156 名(46%)であった。そのうち、入院患者は 127 名(52%)、外来患者が 29 名(31%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、入院患者が 100 名(41%)であった。その他には、本態性(原発性)高血圧(症)の患者も多かった。

次に患者数が多いのは呼吸器系の疾患であり、患者総数は 45 名(13%)であった。そのうち、入院患者は 29 名(12%)、外来患者が 16 名(17%)であった。具体的には肺炎の患者が多く、入院患者が 15 名(6%)であった。その他には、慢性閉塞性肺疾患の患者も多かった。



## No.24 病院（村山地域）

## 病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	211	145	66	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	2	2	—	1%	1%	—
II 新生物	13	10	3	6%	7%	5%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	1	1	—	0%	1%	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	7	1	6	3%	1%	9%
V 精神及び行動の障害	4	4	—	2%	3%	—
VI 神経系の疾患	8	8	—	4%	6%	—
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	132	92	40	63%	63%	61%
X 呼吸器系の疾患	20	14	6	9%	10%	9%
X I 消化器系の疾患	8	5	3	4%	3%	5%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	8	2	6	4%	1%	9%
X IV 尿路性器系の疾患	1	1	—	0%	1%	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	2	—	2	1%	—	3%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5	5	—	2%	3%	—
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

## 病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	13	10	3	6%	7%	5%
II 糖尿病	1	1	—	0%	1%	—
III 虚血性心疾患	20	7	13	9%	5%	20%
IV 脳血管疾患	72	72	—	34%	50%	—
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

## 解析結果

No.24 病院の患者総数は 211 名であり、そのうち入院患者は 145 名、外来患者は 66 名であった。No.24 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 132 名(63%)であった。そのうち、入院患者は 92 名(63%)、外来患者が 40 名(61%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、入院患者が 53 名(37%)であった。その他には、本態性(原発性)高血圧(症)、狭心症、脳内出血の患者も多かった。

## No.25 病院（村山地域）

## 病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	86	41	45	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	—	—	—	—	—	—
II 新生物	—	—	—	—	—	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	1	—	1	1%	—	2%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1	—	1	1%	—	2%
V 精神及び行動の障害	—	—	—	—	—	—
VI 神経系の疾患	1	1	—	1%	2%	—
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	11	9	2	13%	22%	4%
X 呼吸器系の疾患	1	—	1	1%	—	2%
X I 消化器系の疾患	4	4	—	5%	10%	—
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	2	1	1	2%	2%	2%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	5	2	3	6%	5%	7%
X IV 尿路性器系の疾患	53	19	34	62%	46%	76%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	—	—	—	—	—	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	3	2	1	3%	5%	2%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	4	3	1	5%	7%	2%
X X 保健サービスの利用	—	—	—	—	—	—

## 病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	1	—	1	1%	—	2%
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	7	7	—	8%	17%	—
V 周産期	—	—	—	—	—	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

## 解析結果

No.25 病院の患者総数は 86 名であり、そのうち入院患者は 41 名、外来患者は 45 名であった。No.25 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは尿路性器系の疾患であり、患者総数は 53 名(62%)であった。そのうち、入院患者は 19 名(46%)、外来患者が 34 名(76%)であった。具体的には慢性腎不全の患者が多く、患者総数が 52 名(60%)、入院患者が 19 名(46%)、外来患者が 33 名(73%)であった。

次に患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 11 名(13%)であった。そのうち、入院患者は 9 名(22%)、外来患者が 2 名(4%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、入院患者が 6 名(15%)であった。



## No.26 病院（村山地域）

## 病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	343	271	72	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	55	54	1	16%	20%	1%
II 新生物	1	1	—	0%	0%	—
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	—	—	—	—	—	—
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	11	6	5	3%	2%	7%
V 精神及び行動の障害	30	28	2	9%	10%	3%
VI 神経系の疾患	127	95	32	37%	35%	44%
VII 眼及び付属器の疾患	—	—	—	—	—	—
VIII 耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—
IX 循環器系の疾患	60	42	18	17%	15%	25%
X 呼吸器系の疾患	16	12	4	5%	4%	6%
X I 消化器系の疾患	2	—	2	1%	—	3%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	—	—	—	—	—	—
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	18	12	6	5%	4%	8%
X IV 尿路性器系の疾患	—	—	—	—	—	—
X V 妊娠, 分娩及び産褥	—	—	—	—	—	—
X VI 周産期に発生した病態	—	—	—	—	—	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	8	8	—	2%	3%	—
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	1	1	—	0%	0%	—
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	13	12	1	4%	4%	1%
X X 保健サービスの利用	1	—	1	0%	—	1%

## 病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	—	—	—	—	—	—
II 糖尿病	4	1	3	1%	0%	4%
III 虚血性心疾患	—	—	—	—	—	—
IV 脳血管疾患	55	40	15	16%	15%	21%
V 周産期	8	8	—	2%	3%	—

資料:平成 17 年山形県患者調査

## 解析結果

No.26 病院の患者総数は 343 名であり、そのうち入院患者は 271 名、外来患者は 72 名であった。No.26 病院では入院患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは神経系の疾患であり、患者総数は 127 名(37%)であった。そのうち、入院患者は 95 名(35%)、外来患者が 32 名(44%)であった。具体的にはその他の神経系の疾患の患者が多く、患者総数が 36 名(10%)、入院患者が 30 名(11%)、外来患者が 6 名(8%)であった。その他には、脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群、てんかんの患者も多かった。

次に患者数が多いのは循環器系の疾患であり、患者総数は 60 名(17%)であった。そのうち、入院患者は 42 名(15%)、外来患者が 18 名(25%)であった。具体的には脳梗塞の患者が多く、患者総数が 32 名(9%)、入院患者が 22 名(8%)、外来患者が 10 名(14%)であった。

三番目に患者数が多いのは感染症及び寄生虫症であり、患者総数は 55 名(16%)であった。そのうち、入院患者は 54 名(20%)、外来患者が 1 名(1%)であった。具体的には呼吸器結核の患者が多く、患者総数が 41 名(12%)、入院患者が 40 名(15%)、外来患者が 1 名(1%)であった。

## No.27 病院（村山地域）

## 病院毎の患者総数に対する傷病別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	1,363	542	821	100%	100%	100%
I 感染症及び寄生虫症	33	9	24	2%	2%	3%
II 新生物	425	223	202	31%	41%	25%
III 血液等の疾患並びに免疫機構の障害	11	6	5	1%	1%	1%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	125	16	109	9%	3%	13%
V 精神及び行動の障害	101	27	74	7%	5%	9%
VI 神経系の疾患	62	18	44	5%	3%	5%
VII 眼及び付属器の疾患	78	16	62	6%	3%	8%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	6	3	3	0%	1%	0%
IX 循環器系の疾患	128	64	64	9%	12%	8%
X 呼吸器系の疾患	35	20	15	3%	4%	2%
X I 消化器系の疾患	88	28	60	6%	5%	7%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	29	10	19	2%	2%	2%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	54	31	23	4%	6%	3%
X IV 尿路性器系の疾患	98	23	75	7%	4%	9%
X V 妊娠, 分娩及び産褥	9	8	1	1%	1%	0%
X VI 周産期に発生した病態	4	4	—	0%	1%	—
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	15	11	4	1%	2%	0%
X VIII 症状, 徴候等で他に分類されないもの	17	3	14	1%	1%	2%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	37	21	16	3%	4%	2%
X X 保健サービスの利用	8	1	7	1%	0%	1%

## 病院毎の患者総数に対する事業別の患者割合

疾病分類	受療数(件)			受療率(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
I がん	370	208	162	27%	38%	20%
II 糖尿病	75	10	65	6%	2%	8%
III 虚血性心疾患	23	12	11	2%	2%	1%
IV 脳血管疾患	19	14	5	1%	3%	1%
V 周産期	28	23	5	2%	4%	1%

資料:平成17年山形県患者調査

## 解析結果

No.27 病院の患者総数は 1,363 名であり、そのうち入院患者は 542 名、外来患者は 821 名であった。No.27 病院では外来患者の方が多かった。

最も患者数が多いのは新生物であり、患者総数は 425 名(31%)であった。そのうち、入院患者は 223 名(41%)、外来患者が 202 名(25%)であった。具体的にはその他の悪性新生物の患者が多く、患者総数が 48 名(4%)、入院患者が 39 名(7%)、外来患者が 9 名(1%)であった。その他には、胃の悪性新生物、その他の新生物、気管、気管支及び肺の悪性新生物、乳房の悪性新生物の患者も多かった。